

そよかぜ

千葉盲学校寄宿舍 3月発行

校長挨拶

寄宿舍職員室の側と学校の石川倉次さんの銅像の近くに、それぞれ白、桃色の花が咲く梅の木があります。梅の木に花が咲くと、寒い朝であっても「もうすぐ春がやってくる」と、暖かな気持ちになります。今年も梅の木には、美しい花が咲きました。この便りが皆さんの手元に届く頃には、季節の主役は梅から桜に代わり、学校も年度の締めくくりと新しく迎える年の準備で忙しくなっているでしょう。

私は、樹木の生長と学校や幼児児童生徒の姿とを、重ねて思うことがあります。小さかった芽が太陽や水を受けながら栄養を蓄え、枝葉を伸ばし、花を咲かせ、実をつける。そしてこの実が、次の芽の基になり、この営みが脈々とつながっていく。学校も一つの括りとして卒業や修了はあるけれど、学校での学びや寄宿舍の生活での経験は、一人一人の基盤として根を下ろし、誰もが何度も美しい花を咲かせていく。ここでの経験全てが糧になっていくのだと思います。そして、次の人にもつながっていくと思うのです。

これからも、他者を思い、人と人とのつながりを大切にしながら、それぞれの場でいろいろな花を咲かせてほしいと願っています。

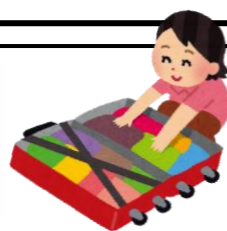
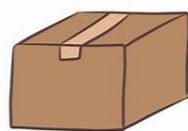
寮務主任挨拶

「舎生、卒業生のみなさんへ」

今年、年始から能登半島での災害があり、私自身もたくさんのことを考えさせられる出来事になりました。舎生のみなさん、令和5年度はみなさんにとってどんな1年だったでしょうか。4月に決めた目標は、どのくらい達成することができましたか。私は以前、みなさんに、「夢というのは、なかなかかなわないから夢というのかもしれない。」という内容の話をしたことがあるように思います。ただ、本当に伝えたいのはこの続きです。つらくても、くじけそうになっても、あきらめずに一歩ずつでも前に進めば、必ず新しい何かが見えてくると私は信じています。これからのみなさんのますますの御活躍、応援しております。

年度末・年度初めの予定

- | | |
|---------|------------------------|
| 荷物搬出 | 3月26日(火)まで |
| 荷物搬入 | 4月4日(木)から |
| 寄宿舍宿泊開始 | 4月8日(月)、入学生は4月10日(水)から |



寄宿舍送別会

3月11日に送別会を行いました。今年は舎生が自ら作り上げる送別会を目指し「みんなが楽しめる送別会」をコンセプトに、夏休み後から舎生同士で話し合いを進めてきました。



当日は、舎生自ら作成した装飾がテーブルに並びました。桜の木や菜の花のランタン、席次表など、送別会の色のイメージとして舎生の話し合いで挙がっていた“ピンク・黄・青”が感じられるテーブルで迎えた送別会。余興・ゲームはみんなで盛り上がりました！送別会のラストを飾る、贈る言葉・旅立ちの言葉では「Kさんに幸あれ！」「優しく声をかけてくれてありがとう」とお互いが感謝の思いを伝え合い、卒業退舎生のNKさんとの別れを惜しみながら過ごす、素敵な送別会となりました。

